

国立科学博物館の
南方熊楠展が
田辺にやってくる！



第25回 特別企画展

南方熊楠

100年早かった智の人

MINAKATA Kumagusu

An informant-savant a 100 years ahead of his time

熊楠をもっと知ろう！シリーズ第41回
シンポジウム

南方熊楠展を振り返る

2017年12月19日～2018年3月4日まで、国立科学博物館で開催された南方熊楠生誕150周年記念企画展「南方熊楠-100年早かった智の人」展を展示担当者が振り返るとともに、今後の展望についてディスカッションします。

パネリスト：細矢剛、岩崎仁、平川恵実子、萩原博光、安田忠典
コーディネーター：田村義也

9月8日（土）14:00～16:30（終了予定）

聴講無料／申込不要

2018
7/21 Sat. → 9/17 Mon.

開館時間／10:00～17:00（最終入館16:30）

休館日／毎週月曜日、ただし9月17日（月）は開館

特別協力／国立科学博物館、京都工芸繊維大学

※本展の内容には、科学研究費助成事業「南方熊楠研究データベースの構築とそれを利用した文理統合型研究」（JSPS 科研費 26330383）の成果が含まれています。

南方熊楠顕彰館

MINAKATA KUMAGUSU ARCHIVES

〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地

TEL: 0739-26-9909 / FAX: 0739-26-9913



第25回 特別企画展

南方熊楠

100年早かった智の人

熊楠の智の生涯

1

幼いころから天才的な記憶力を発揮し、博物学や語学に優れていたという南方熊楠。資料を通じて熊楠の生涯を概観します。



キャラメル箱



動物学 (第一編)



ロンドン抜書



本草綱目抜書

智の広がり

3

熊楠が収集した、多様性に満ちた“隠花植物”。それはいったいどんな生物なのでしょう。科博の研究者がいまでも研究しているこれらの生物(菌類・地衣類・大型藻類・微細藻類)を、科学的視点で、熊楠標本や現在の標本資料と対比しながら紹介します。



熊楠採集の地衣類標本

智の展開 - 神社合祀と南方二書 -

5

膨大な知識とフィールドにおける経験は、やがて、神社合祀反対運動を通じた自然保護運動をうったえる「南方二書」として結実しました。

二書に登場する植物の標本(現在の植物)を展示し、熊楠の膨大な知識・経験が自然保護の実践に結びついたことを紹介します。



南方二書 (原文)



南方二書に出てくる植物

南方熊楠は、森羅万象を探求した「研究者」とされてきましたが、近年の研究では、むしろ広く資料を収集し、蓄積して提供しようとした「情報提供者」として評価されるようになってきました。本展覧会では、熊楠の活動のキーアイテムである日記・書簡・抜書(さまざまな文献からの筆写ノート)・菌類図譜を展示。“熊楠の頭の中をのぞく旅”に誘います。

一切智を求めて

2

帰国後の熊楠は、和歌山県的那智や田辺で“隠花植物”(コケやシダ、菌類など花の咲かない植物を総じて指して用いられた昔の言葉)や、民俗の研究にのめりこみました。熊楠使用のフィールドワークの道具を展示し、活動の一端を紹介します。



絵具・描画道具入りかご



微細藻類 プレパレート入れ

智の集積 - 菌類図譜 -

4

熊楠は、多数の菌類を集め、描写・記載し、数千枚にも及ぶ「菌類図譜」を作成しました。最近新しく発見された「菌類図譜・第二集」を初公開^①。従来知られていた図譜(第一集)も、合わせて展示。^①和歌山県で初公開



菌類図譜 (第二集)

智の構造を探る

6

熊楠の活動は、自然史にとどまらず、人文系の分野にまで及びました。代表作である「十二支考・虎」も、膨大な情報収集の上に編み出されたものです。「虎」には、熊楠が「腹稿」と呼んだメモ書きが発見されており、熊楠の頭の中にある情報をまとめていく過程を示したものとして、現在でも研究されています。「虎」の腹稿研究の紹介を通じて、熊楠の思考に迫ります。



十二支虎腹稿

熊楠をもっと知ろう! シリーズ 第41回

シンポジウム 南方熊楠展を振り返る

●パネリスト

- 細矢 剛 国立科学博物館 植物研究部 菌類・藻類研究グループ長
- 岩崎 仁 京都工芸繊維大学 環境科学センター 准教授
- 平川 恵実子 四国大学 非常勤講師
- 萩原 博光 国立科学博物館 名誉研究員
- 安田 忠典 関西大学 人間健康学部 教授

●コーディネーター

- 田村 義也 南方熊楠顕彰会 学術部長

2018年9月8日
14:00 ~ 16:30
@ 南方熊楠顕彰館

